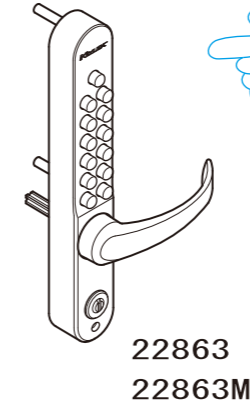


KEYLEX 800[®]

キーレックス 800
自動施錠
両面ボタンタイプ

取扱説明書（施主様向）

このたびは、当社製品のお買い上げ、ありがとうございます。本取扱説明書は、施主様、又はご入居者にお渡しください。
この説明書は必ずお読みの上、保管してください。



防犯上、記憶番号の変更を定期的におこなうことと、施錠時に記憶番号以外のボタンを空押しすることをおすすめ致します。

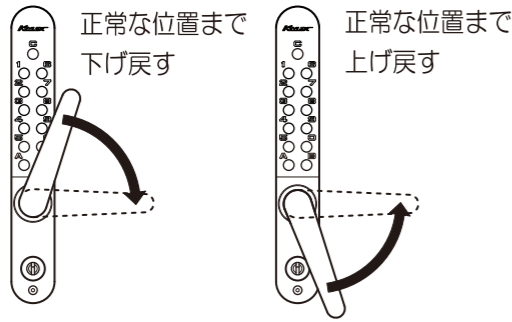
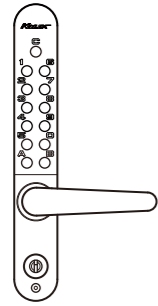
〈記憶番号の記録〉		
年	月	日
年	月	日
年	月	日
年	月	日
年	月	日
ただ今の記憶番号		

レバーハンドルの位置が正常でない時

レバーハンドルの位置が、下図になった時は、正常な位置に戻します。

レバーハンドルに『こじ開け防止・安全装置機能』がついています。記憶ボタン操作をせず強引にレバーハンドル操作をすると内部機構保護のため安全装置が作動し、レバーハンドルが空転して、上（下）位置でとまります。故障ではありません。

正常な位置



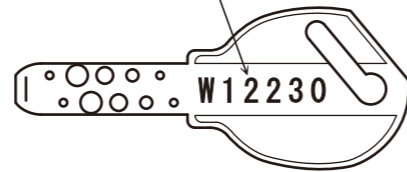
本図は右吊元時の室外側本体（左吊元は対称）

キーNo.の確認方法

二重リングを外し、黒い樹脂ホルダーとキーに分けます。



キーに刻印されたNo.をご確認ください。



記憶番号設定に関するご注意

- キーレックス800は1～12桁まで任意の記憶番号を設定できます。
- ボタンを押す順番は設定できません。
例) 記憶番号 1・2・3 の場合
1・2・3 と押しても 2・3・1 3・1・2 1・3・2 と押しても解錠できます。
- 1つのボタンにつき設定は1回だけです。（同じボタンを2度押す設定はできません）
例) 1・1・2・3 や 1・2・2・3 の設定はできません。



注意 危険防止の為に以下をお読みください

- 取付時の注意
 - 各部取付ねじの締め付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。
- 取付ねじのゆるみ
 - 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為に定期的にし締めしてください。
- 受座の飛び出し
 - 受座の飛び出しが大きい場合、体を傷つけたり、衣服を引っ掛けるおそれがありますので、取付業者に依頼して適正な受座に取り替えてください。
- 他の用途への使用
 - レバーにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。
- ◆ 操作上の注意（故障の原因となります）
 - 製品の分解、改造はしないでください。
 - デッドラッチを突出させた状態で扉を閉めないでください。
 - ボタンを押しながら、レバーの操作をしないでください。
- ◆ 永くご使用頂くために
 - 錠ケースへの潤滑材使用はさけてください。
 - 表面の手入れは柔らかな布でから拭きしてください。特にボタンまわりは、定期的から拭きし、汚れがひどい場合は、中性洗剤を使用してください。



取り付けに異常がありましたら専門の業者にご相談ください。



www.nagasawa-mfg.co.jp

株式会社 長沢製作所

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) 福岡出張所 TEL. 092-524-7031 (代)
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032

大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)
FAX. 06-6783-5092

基本操作

ご使用前に確認してください。

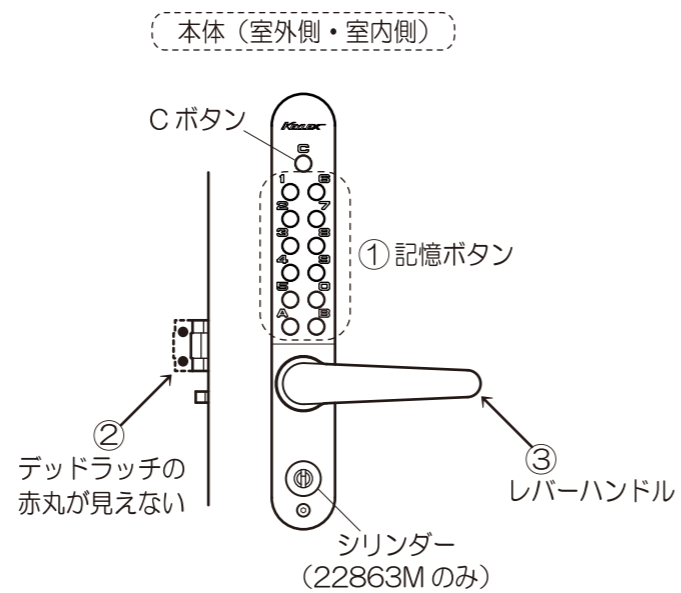
- ① 登録している記憶番号。
- ② 錠のデッドラッチの赤丸が見えない。
(見えている場合は、レバーハンドルを操作して、デッドラッチを正常位置に戻す)
- ③ レバーハンドルが真横になっている。
(真横になっていない場合は、4ページの「レバーハンドルの位置が正常でない時」を参照)

解錠：C ボタンを押す（誤操作の記憶番号を解除）
現在の記憶番号を押す。
レバー操作で開扉できます。

※ボタンを押しながらのレバー操作はしないでください。
※鍵付タイプ（品番末尾 M）の場合は、記憶ボタン操作の代わりにキー操作でも開扉できます。

- I：キーをシリンダーに入れ回す。
(デッドラッチのみが引き込まれる)
- II：キーを回したまま（戻さずに）、
レバーハンドルを引いて（外開き時）開扉する。

施錠：扉を閉めると施錠されます。



本図は本体（室外側）右吊元仕様

記憶番号の変更方法 扉から取り外して記憶番号の変更をします

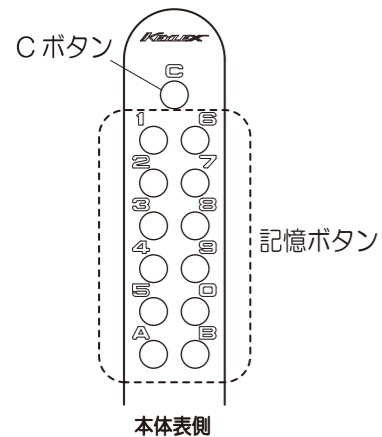
① 室外側本体・② 室内側本体それぞれに、記憶番号が設定できます。

【記憶番号変更の準備】

- ① 本体表側のC ボタンを押します。
- ⚠ ⑦まで、記憶ボタンは押さないでください。

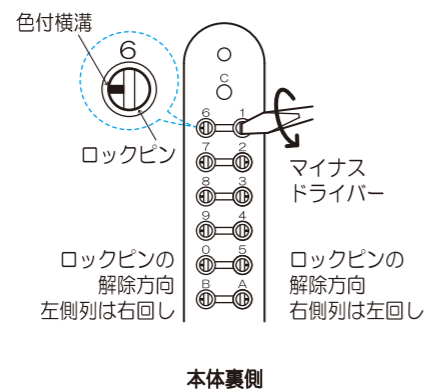
※ C ボタンを押さないと、内部部品が破損する場合があります。必ず押してください。

- ② 本体を裏返します。



【現在の記憶番号を解除】

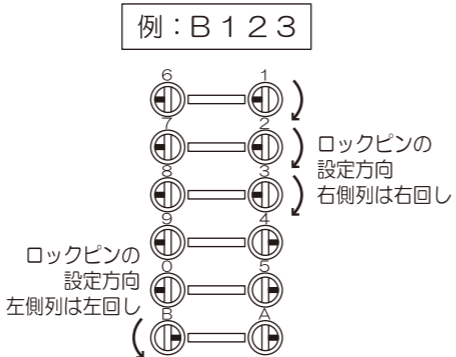
- ③ 本体裏側の、記憶されているロックピンを回転させて記憶されている番号を解除します。（ロックピンの色付横溝を外向きに回転させる）



- ④ 本体を表側にします。C ボタンを押す、レバーハンドルが動くことを確認します。

【記憶番号の設定】

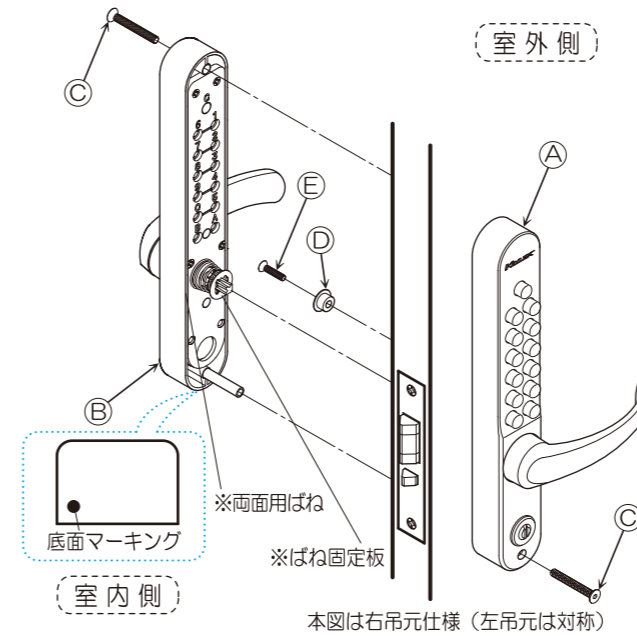
- ⑤ 新しく記憶させる番号は必ず記録してください。本紙表紙に記入欄があります。
- ⑥ 本体を裏返し、記憶させる番号のロックピン色付横溝を中央ライン側に合わせます。



- ⑦ C ボタン + 新しい記憶番号を押す、レバーハンドルが解錠方向に回ることを確認します。

- ⑧ 取り付けと、作動確認（取付説明書参照）をします。

取り外し方法

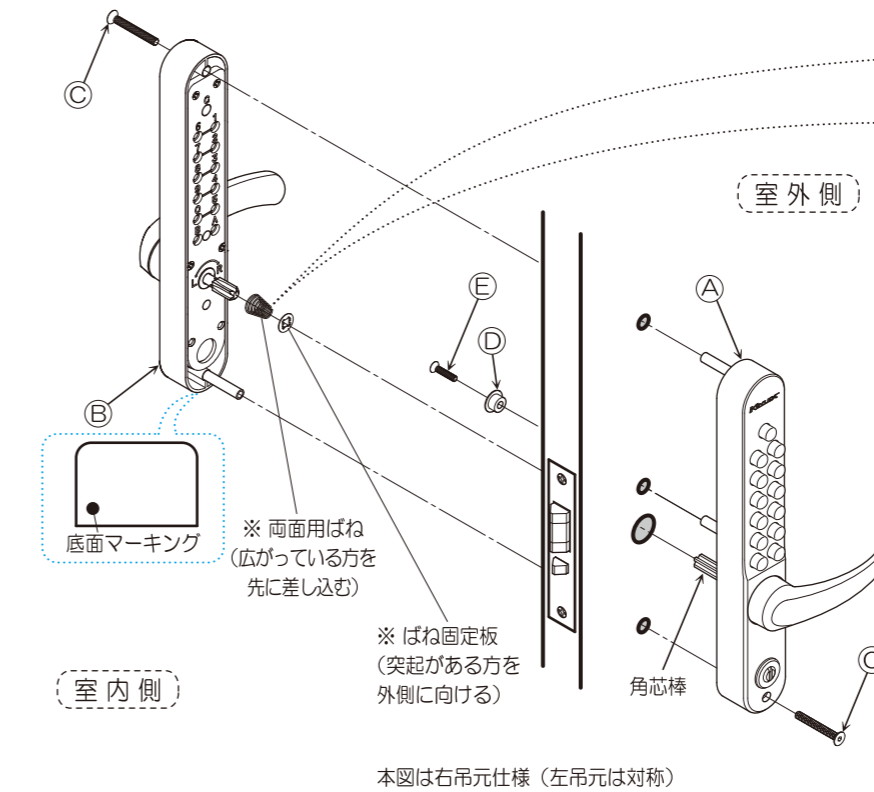


本図は右吊元仕様（左吊元は対称）

- ※：① 室外側本体は仮止めされています。
- I：本体底面を確認し、① 室外側本体（底面マーキングなし）側の ③ 本体固定ねじ 1 本を外します。
- II：② 室内側本体（底面マーキングあり）の落下に注意しながら ② 室内側本体（底面マーキングあり）側の ③ 本体固定ねじ 1 本を外します。
- III：② 室内側本体（底面マーキングあり）を扉から外します。
- IV：① 室外側本体（底面マーキングなし）の落下に注意しながら ④ 両面用ねじ、⑤ 両面用ねじ受けを外し ① 室外側本体（底面マーキングなし）を外します。
- ※：扉厚 40 mm以上の本体には、角芯棒に角芯棒軸パーツ（両面用ばね・ばね固定板）が取り付けられています。

角芯棒軸パーツは、本体取付時に、角芯棒の垂れ下がりを防ぎ、取り付けしやすくするための部品です。記憶番号変更時などで、角芯棒軸パーツを紛失しても、そのまま扉へ取り付けられます。キーレックスの性能には支障はありません。

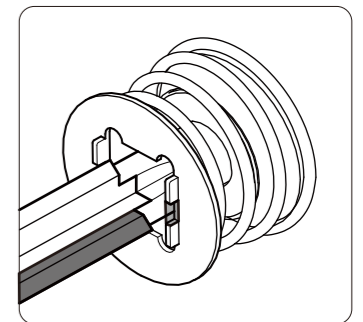
取付方法



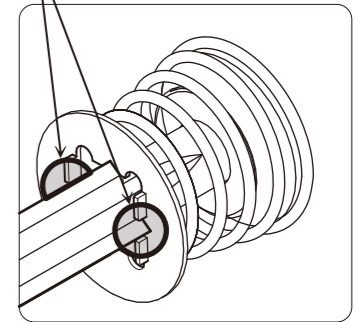
本図は右吊元仕様（左吊元は対称）

角芯棒軸パーツの取付方法（扉厚 40 mm以上）
ばね固定板の位置を調整する

- ① ばね固定板を角芯棒の根元まで押し込み、ばね固定板を45度回転させてばね固定板の突起と突起の間■に角芯棒の角■をセットする。



- ② ばね固定板を動かしながら位置を調整し、ばね固定板の突起と突起の間、対角2か所それぞれに角芯棒の角が嵌め込まれているのを確認する。



※ 鍵付タイプでは、キーを抜いた状態でセットします。

- I：室外側に、① 室外側本体（裏側パイプねじ 2 本・底面マーキングなし）をセットし、④ 両面用ねじ受けと、⑤ 両面用ねじで固定します。
- II：室内側に、② 室内側本体（裏側パイプねじ 1 本・底面マーキングあり）をセットし、③ 本体固定ねじ 1 本で、② 室内側本体を固定します。
- III：③ 本体固定ねじ 1 本で、① 室外側本体を固定します。扉を閉める前に作動確認（取付説明書参照）をしてください。